

## ぶらぶら散歩 一鶯谷、谷中、上野一

すこし「充電」しようと思い、午後に半休をとりました。

ぶらぶらと鶯谷に足を向けます。お目当ては「子規庵」、正岡子規が病氣と闘いながら、必死に情報発信した庵です。感慨深いものがありました。子規が使っていた机に座り、子規になった気分を味わいました。縁側に腰掛け、庭をぼんやりと眺めました。「心が元気になる場所」でした。

その後、行くアテもなく、ぶらぶらと日暮里方面へ。谷中銀座にたどり着きました。アーケードの無い青空商店街です。懐かしいものを感じました。

商店街を歩いていると、おいしそうな「メンチカツ」が眼に入りました。なんだか有名なようです。「すずき」という店で、名前も気に入ったので（同じ姓です）、1つ食べてみました。¥200 でした。

店にはソースがありませんでした。「このまま食べる」ということでしょう。すこし齧ってみて納得。胡椒が効いた味で、「このまま」がいいですね。アツアツで量もたっぷり。おいしかったです。

谷中には「サトーのメンチ」というものもあるようです。次回はこちらを食べてみよう、メンチ研究家（俺のことです）は思いました。

急にビールが飲みたくなりました。

足は自然と上野の「肉の大山」に向かっていました。

まもなく到着。時間は3時半。まだまだ陽が高い時間です。立ち飲みをやりました。

「やみつきメンチ」1個とナマ中を注文。するとびっくり。値段は¥280 でした。3時から割引があったのです。

今日2つめのメンチをかじり、ビールで流していると、隣に爺さんが来ました。大ジョッキをもち、メンチ1個をもっていました。常連のようです。少し会話をしました。

70歳を過ぎているようです。「75歳までは呑みたい」と力強く言いました。それと「大ジョッキでなければ、呑んだ気がしない」とも言いました。今後の我が人生の参考になります。よく見ると、アルコール半額を狙った老人が数名いました。3時からの常連のようです。メンチはおいしく、ビールとよく合いました。



(M. S.)